

第285回: 赤い貴族の避暑地

中国の習近平指導部が提唱している北京市、天津市、河北省をひっくるめた「京津冀一体化」構想、これと前政権の胡錦濤・温家宝コンビが推進した「環渤海湾経済圏」と何がどう違うのか聞かれるとちょっと困る。間違いないのは、前政権がこの一帯を、珠江経済圏、上海経済圏と並ぶ中国三大経済圏に発展させることを展望していたのに対し、習近平の京津冀構想は、高度成長の歪みの是正に力点が置かれている。成長の光と影と云うべきか、この地の深刻な環境汚染や都市機能の北京市への一極集中を解決するのが狙いようだ。そのために、先ずは河北省の事業環境の水準を北京市天津市と同レベルとするため、現在交通インフラと通関業務の一体化に向けた取り組みが進められている。

云うまでもないことだが、京津冀の京は北京、津は天津、冀は河北省を指す。地理的關係を分かりやすく解説すると、本州(河北省)のなかに、岩手県(北京市)と秋田県(天津市)がすっぽり包み込まれているようなイメージだ。その河北省だが、むかしは冀州と呼ばれていた。後漢末期に天下統一を狙い、官渡の戦いで曹操に敗れ滅亡した袁紹の出身地である。むかしは洛陽や長安を擁する中原の遥か東に位置し、東夷が住む辺境であったが、北方のツングース系民族の活動が優勢になると、天下を窺う要衝の地となり、遂には蒙古族の元朝と、満州族の清朝が都を北京に置き、この地に宮中文化が栄えることになった。

河北省には夏の避暑地が二つある。一つは清朝の歴代皇帝が愛した北京の北 250 キロに位置する承德である。清朝皇帝が先祖のヌルハチさんたちのルーツを訪ね、里帰りの行幸で必ず立ち寄ったのが、日本の軽井沢のような趣の承德だ。一方、中国共産党の赤い貴族たちが、夏になると避暑に訪れるのが海辺の北戴河(秦皇島市)である。北京の東部250キロに位置する秦皇島といえば中国最大のエネルギー資源である石炭を運搬する大秦鉄路(上海A株 601006)が北京市を跨ぎ、大同から秦皇島まで伸びており、石炭で真っ黒に汚れた港湾労働者が働く港町の近くに優雅な別荘地が広がっている。もちろん周囲は兵隊が固めている。(注: 大秦鉄路股份有限公司の大は雲崗石窟で有名な大同市、秦は秦皇島を指す。為念)。

文化大革命以前は、毛沢東や周恩来、鄧小平たちが、一族郎党を引き連れ海水浴に訪れ、娯楽の少なかつた時代ゆえ、映画鑑賞やダンスパーティ等が毎晩開かれたと云う。革命の功労者たちは、毛沢東にしても朱徳、鄧小平にしても、湖南省や四川省辺りから這い出てきた山出しの田舎者であり、子供のころから海に憧れていたようだ。改革開放後も、この赤い貴族たちの夏の習慣は変わらず、近年は現役指導部が、一線を退いた長老たちに政策を説明したり、意見交換したりする場として利用されている。日本にはこんな会議がないので理解しづらいが、露骨に云えば、共産党の長老と現役幹部が今月末から8月上旬にかけて、北戴河に集結し、向こう1年間の政治方針を決める会議である。今週の習近平主席は北京でトルコのエルドアン大統領と面談し、李克強首相は國務院常務會議を主催したと報道されているが、来週の北戴河入りを控えた夏休み前の最後の活動だろう。

先週、周永康事件の関連で北戴河の所属する河北省トップの周本順書記が失脚したのは、北戴河會議を控えた現地の大掃除だろう。習近平の進める「虎も蠅も一網打尽」の肅清により周永康、薄熙来、徐才厚、令計画が21世紀の「新四人組」として浮かび上がってきたが、もうひとり彼ら政治局委員クラスに相当する

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

大トラがいる。いまだどこかで身柄を拘束されている郭伯雄上将(73)だ。彼は徐才厚と共に、胡錦濤時代の10年間、総勢300万人近い中国人民解放軍(PLA)のツートップを勤めた。共産党員としては25名で構成される党中央政治局委員を、中央軍事委員会では胡錦濤に次ぐ副主席まで登り詰め、胡錦濤の引退と共に、副主席ポストを、いま現役の范長竜と許其亮にバトンタッチしたばかりである。

徐才厚上将が、ハルビン軍事工程学院を卒業し、PLAの政治畑を歩んだ超エリートであったのに比べ、郭伯雄上将は田舎の陝西省の労働者を経て、陸軍二等兵として19歳で入営し、その後蘭州軍区に所属する第19軍で徐々に頭角を現してきた叩き上げた。軍歴は解放軍軍事学院卒だが、これは彼が蘭州軍区で作戦部副部長(当時39歳)を勤めていたとき、PLAが彼の将来のために金箔を振りかけてくれたものであり、テンプラ学生(ちょっと古いかな)のようなものだ。

ちょうど1年前の7月29日に、党中央は周永康が「重大な規律検査違反」を犯したので、立件を視野に入れた調査を開始すると公表した。郭上将は女装して偽パスポートで海外逃亡しようとして逮捕されたと、まことしやかなウワサが流れ、誰の悪戯か彼の女装アイコン写真がネット上を漂流していたのを思い出す。

彼の身柄拘束は100%間違いないが、逮捕事実が公表されるのか否かが注目される。これまでの流れから見ると、彼一人にだけ特赦を与えるのは習近平の流儀に反するが、彼はマッカーサーやニミッツに匹敵する元帥級の人物だ。しかも叩き上げ将官として、いまでもPLA内部に隠然たる影響力を有しており、念の為に北戴河に集結する長老連中へ習近平が自ら説明し、その後公表する可能性もある。

もっとも、そろそろ89歳を迎える江沢民が、股肱の臣を次々に拘束されるなか、北戴河に乗り込む体力が残っているか。今年6月に喬石(90)、7月には万里(98)と共産党の最長老が次々に亡くなり、天安門広場には半旗が掲揚され、習近平以下のオールスターが葬儀に参列したが、ひとり江沢民御大の姿が見えず、報道によると弔花を出しただけであった。喬・万の両氏は最大級の長老で、彼らに匹敵する人物はまだ若い胡錦濤を除けば、江沢民と李鵬の二人のみだ。江沢民の体調が優れないから、大先輩の葬儀に欠席したのか、それとも習近平から禁足令が出されたのか、注目に値する事件ではある。

郭伯雄の容疑は、「官位売買」を含む汚職だ。当たり前のことだがPLAではトップ二人のみが腐敗、残る将卒は全員潔癖な訳がない。集団軍長と師団長、師団長と連隊長との間でも同様の商行為が行われていたに決まっている。最近ASEANの海で乱暴狼藉を繰り返すPLAだが、有事の際の必勝法は砲弾の代わりに大量の札束を投下することだ。最強兵器が人民元ではなく米ドルであることは言うまでもない。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成27年7月30日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本^の常識は中国^の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040